



楽しくて力のつく学校

石部小学校 校報 第52号

平成25(2013)年2月18日

電話:77-2030

Fax :77-6733

ホームページ [http://www.edu-konan.jp/ishibe-el/]

1年「昔あそび」体験(10/19)

「いしべっこ」の方々にお世話になって昔遊びを体験しました。

7人の方々に指導していただきながら、「風車」「折り紙」「おはじき」「ゴム鉄砲」「けん玉・コマ回し」「紙鉄砲」を作ったり、遊んだりしました。

「いしべっこ」の方々には、材料の準備までしていただき懇切丁寧に教えて頂き、1年生の子どもたちは、遊びを通して温かい気持ちまで感じることができました。

4年「甲賀警察署・藍染め・下田焼」見学(1/24)

社会科「事故や事件からくらしを守る」学習の一環として、水口の甲賀警察署の見学に行きました。

安全なくらしを守るために苦勞してくださってることや、私たちが気を付けることなどを聞きました。

また、本物の警察手帳や警棒を見せていただいたり、パトカーや白バイに乗せていただいたりと、貴重な経験をさせていただきました。

午後は、「伝統的な産業」として、下田に長く続いている藍染めの見学をしたり、下田焼の絵付けを体験したりしました。これらの学習を通して、伝統を守り続けておられる人たちの生き様を少しでも感じてくれればと願っています。

5年・6年スキー教室(2/8)

非常に厳しい寒さの中、箱館山スキー場で、5, 6年生がスキー実習をしました。

ゴンドラで登った山の上は、大人も含めておそらくみんな初めての経験であろう猛吹雪で、寒いというより痛いと感じる日でした。

そんな中でも、我慢強く熱心に練習し、スキーの楽しさを味わいながら上達することもできました。また、楽しさどころではなかった人も、冬山の厳しさという、ある意味貴重な体験ができたとも言えます。

こんな日でも、みんなが無事に帰って来ることができたのも、早朝よりお世話になったボランティアの方々のおかげです。本当にありがとうございました。

6年「国際平和ミュージアム」見学(1/25)

社会科の工業学習の一環としてトヨタ自動車の見学をしました。ベルトコンベアーで大量生産されている様子や、名古屋港から輸出される車の多さに驚きの声を上げていました。その後は、水族館でイルカショーなどを楽しみました。

国語力集会(群読)(1/22)

学年毎に誌や物語の部分を覚えて朗読をしました。

全員が一斉に朗読する場面や役割に分かれて朗読する場面が工夫されているだけでなく、内容を考えながら感情豊かに朗読することもでき、聞いている人に感動を与える発表会となりました。

子どもたちは、発表だけでなく聴くことも学習し、教室へ戻ってから学年に応じて、工夫されているところや感想などを書いたり発表し合ったりして、学習を深めました。

野呂先生の授業 (1/28・29・2/5)

11月の4年生に続き、他の学年すべてに1時間ずつ授業をしていただきました。各学年の内容は次の通りです。

1年「むかしばなし」…多くの子どもたちが知ってる昔話を、語りかけるように読んでいただき、子どもたちはお話の世界にどっぷりとつかうことができました。また、どれも「勸善懲悪」の意味があることを1年生にわかるように話してくださいました。

2年「詩」…野呂先生が書かれた詩について、子どもたちの質問をもとに、表現の工夫や

◆ 訂正とお詫び◆◆◆◆

先月号にて3学期の行事予定の中で、離任式を3月31日とお知らせしましたが、3月29日の間違いでした。

(誤)	(正)
離任式：3月31日	→3月29日

訂正してお詫び致します。申し訳ございませんでした。

なお、詳しい登校時刻については、後日学年だより等でお知らせします。

3年(10/26)「(株)東洋ガラス」「(株)やまじょう」

東洋ガラスでは、大きな音の中でビンが作られていく様子を見学しました。やまじょうでは、漬け物が作られていく様子を見学し、おいしい試食もさせていただきました。

どちらでも、働いている人の服装などの工夫や苦勞、喜びなどを学習することができました。

「起震車体験」(5年)(11/7)

消防署の方に来ていただき、滋賀県に1台しかない起震車での体験をしました。震度6や7の体験では、揺れることがわかっていて机にしがみついても、恐怖を感じる程でした。

いつ起こるか分からない実際の場面では、今まで以上の恐怖になることは必至です。今回の体験によって、普段の心構えが如何に必要かを痛感することができました。

野呂先生の講演より

「人が見ているところで良いことをすると、人が誉めてくれる。人が見ていないところで良いことをすると天が誉める。天が一生かけて幸せにしてくれる。」

「人が見ているところで悪いことをすると、人が罰する。人が見ていないところで悪いことをすると天が罰する。長い時間かけて不幸にする。」

子どもたちの手で（児童会活動）

本校が大事にしている学習の一つに児童会活動があります。これは、「望ましい人間関係を形成し、集団の一員としてよりよい学校生活づくりに参画し、協力して諸問題を解決しようとする自主的、実践的な態度を育てる。」ためのものです。

6月8日には全校色別縦割りの顔合わせをし、7月11日には色別で遊びました。また、7月12日には、児童集会を実施し、各委員会からの報告や運営委員会が中心となって取り組んだ福島県原町第一小学校へのメッセージの紹介がありました。企画・運営だけでなく、体育館への入退場も全て子どもたちだけの手で整然と行いました。その様子は、学校評議員の方々にも参観していただき、大いに感心されていました。良き伝統として、今後も続けていきたいものです。

ありがとう！（何気ない日々のなかで見た、心温まるできごとを紹介します）

・毎朝、朝顔の世話をしている1年生。気温の上昇とともにツルがぐんぐん伸びて、はみ出している鉢もあります。自分の鉢でもないのに、はみ出したツルを元の鉢に戻して、優しく支柱に巻き付けている子に出会いました。「ありがとう。」

おこたわり